



# 論説

## 巻頭言

ジョン・チョア直前国際会長の呼びかけの結果、私たちは2004年津波の被災者へのかなりの支援金を集めることができました。このお金によりスリランカでなされた救援活動から3つの報告と写真を投稿いただきました。インドでもこの支援金を活かした活動がなされていますので、次号で紹介できればと思っています。



本誌の編集ではいつも締切間際の送稿ラッシュに悩まされます。活動の終了次第、記事と写真を送ってください。早く原稿・写真が揃うほど良い紙面作りができます。

私の書いた「編集者の目に留まるには」という小文があります。ご請求があればお送りします。

ワイズメンズワールド編集長アラン・ウォリントン

*Yours in Y'sdom  
Wally*

## 国際選挙の結果

今冬の国際選挙では、期限内に郵送された投票は649票、遅れたもの26票を含め無効票は134票でした。2005年10月現在のクラブ数1596のうち投票したクラブは49%、また有効だったクラブは41%でした。



デンマークのラッセ・ベルシュテット氏が2006/7年度の次期国際会長に当選しました。この7月に就任します。

ドイツのクラウス・ディーツェル氏が国際会計に再選されました。再任の任期は2007/10の3年間です。

この7月からの新国際議員は次の各氏（\*女性）です。  
 チュン・キスン（アジア地域選出、韓国）  
 藤井寛敏（同、日本【東京江東クラブ】）  
 リタ・ヘチアラッチ\*（同、スリランカ）  
 アラン・ウォリントン（欧州地域選出、英国）  
 アンネマリー・ヘルツ＝イェンセン\*（同、デンマーク）  
 ヴィジャヤ・クマール（インド地域選出） 次の2氏は来年7月からの国際議員です。

ビル・アーウィン（カナダ）=次期カナダ地域会長  
 コリン・ランピー（豪）=次期南太平洋地域会長

## クラブの重要性

前号のワイズメンズワールドで、私はこの運動にとって個々のワイズメンの重要性についてお話ししました。私は国際標語通り、世界中のワイズメンが「求めるワイズから行動するワイズへ」と重点を移していただくよう訴えました。



しかし、私達がなすすべてのことはクラブのレベルでなされます。ワイズメン一人一人とその属しておられるクラブ、これはまさに不可分の双子といえましょう。一人一人のワイズメンに次いで重要なものは、クラブです。

ワイズメンズクラブ国際協会のメンバーはクラブです。国際憲法第1条第1項には、この組織は「ワイズメンズクラブ国際協会」と称し、とありますが、これは英語ではThe International Association of Y's Men's clubsと書かれています。つまり、クラブが集まって国際的な協会を形成するということです。

クラブは全ての中心です。私達が私達の義務に形を与え、その実行を計画し、実際に実現する場所はクラブなのです。それは私達の目的、目標の決定的な要素であります。



部はクラブが集まって形成します。その上に、区、エリア、国際が形成されます。クラブが増えれば、運動としての我々全体が大きくなります。クラブが脱退することは、この運動の一部が死ぬということです。現在のクラブの大半が消えてしまうと、ワイズメンズクラブ国際協会はおそらく消滅してしまうでしょう。

私達の最高機関である国際議会へ候補者を送り込み、選挙で議員を決めるのはクラブです。クラブはまた、国際会長や国際会計を決めます。つまり、我々のリーダーを生むのはクラブだということです。

クラブは又、交際、もてなし、交流、支援、意見交換、情事臥連帯、プロジェクトの実行、指導者研修、人格形成、この運動の目的追及における一致の機会を作り出します。このように、この運動の成功の実現には、一人一人のワイズメンがクラブで行う行動によりかかっているのです。このことを理解することは決定的に重要であります。

私は、この意味でも、すべてのワイズメンに、エクステンションに「J」を入れ、クラブを増やすように努力することを呼びかけたいのです。みんなで、クラブを支援し、強化しようではありませんか。なぜなら、それが同時に、ワイズメンズクラブ国際協会を支援し、強化することになるからです。

国際会長 ベンソン・ワブレ

求めるワイズから行動するワイズ



## ようこそ、不思議な国へ

ワイズダムの皆さんへ心を込めて。

大会ホスト委員長として、第 67 の Y's 国際大会の開催地およびホストであるプサン（韓国）へ皆さんを心から歓迎します。

私たちは、国際的なクラスの会議場でのプログラムを準備しました。分科会、文化行事およびアトラクション、ショッピング、韓国料理、観光などお楽しみ満載で皆様をお待ちしております。さらに、韓国の素晴らしい気候、理想的な宿泊設備、そして暖かく親しみのある人々をお楽しみ下さい。

2006 年の夏には新たな友好と Y'sdom への情熱の再確認、そして韓国での思い出をいっぱいお土産にできる釜山訪問をお勧めいたします。

開催日時：国際大会 8月3～6日

ICM：7月30日～8月2日

ユースコンボケーション：7月31日～8月6日

オン・ライン登録は <http://www.ysmenic2006.com> でログインしてください。

釜山 ICO6 でお会いしましょう！

**チエ・ハンキ 大会ホスト委員長 (IC O6)**

## 本当のおたのしみ

韓国、釜山での素晴らしいつどい、国際大会への登録をする時期になりました。大会は、500 万人を超える活気溢れる町の中心で開催されます。地下鉄 3 路線とバス路線もいくつか乗り入れ、2 つの大きな青空市場の間に位置しています。

すぐ南側には室内平和市場とタッチェ市場の建物があり、どのフロアーへ行ってもキッチン用品、服飾品、その他ほしいものは何でもそろっています。ちょっと足を延ばせば天然温泉やビーチ、観光施設や市場をお楽しみいただけます。沢山のレストラン、ぜひ本場の韓国焼肉をお試し下さい。各テーブルで料理するものにはスープやご飯はもちろんいくつものサイドディッシュが付きます。釜山では色々な料理を試すのに多くの場所に足を運ぶ必要はありません。もしあちこち行きたくなければ、大会サイトであるロッテホテルには世界中の料理が楽しめるマルチレストランやラスベガススタイルのエンターテインメントを提供しています。信じられないような楽しい世界がこの建物には詰まっています。

本当のおたのしみは、世界中からの Y'smen に会うことでしょう。世界のどこからも韓国には来やすいので多くの参加者を見込んでいます。Y's ライフの全てに関するワークショップがあります。参加してアイデアの交換や世界で何が起きているかを学び、YMCA と地域社会での我々の活動と熱意を新たに持ち帰ってください。この機会を逃す手はありません。今日奄録しましょう！

**ジム・ミラー (釜山セントラル)**

求めるワイズから行動するワイズへ

## 愛をもって積極的に参加

ここで IPE の選挙での皆さんの支えに心よりお礼を申し上げます。国際 Y's への奉仕することが出来、大変光栄に思っています。

私の IP の仕事は広い海にいるヨットのようなものです。

我々の目標でありモットーは“ 06 'に 30,000 超 ”です。乗組員である 8 地区の Y's のリーダーが目標の“ 2006 年には 30,000 人のメンバーを ” に向かいキャプテンを助けてくれるでしょう。

この為には皆さんの“ 愛をもって積極的に参加 ” が必要です。我々の全ての活動、メンバー増強、地域奉仕、ファンドレイズ、トレーニングなど愛を持って行いましょう。そうすれば自然に成功するでしょう。

私たちのゴールは、私のビジョンである「未来の基礎を構築しよう」に莫大に寄与するでしょう。強力なメンバーは Y's を強くし、助けを必要とする人には手を差し伸べる事が出来、よりよい世界を築くミッションであることに気付くでしょう。

神様のお恵みにより 2006 年が我々のクラブのみならず一人一人の、そして家族や愛する人たちに発展の機会が与えられますようお祈り申し上げます。

航海へようこそ！

**チエ・ハンキ 次期国際会長 05 / 06**

## 周知のための行進

スリランカ区は国際ワイズの「世界統一プロジェクト」(UGP)である HIV / AIDS 防止運動の一環として 2005 年 12 月 2 日から証券取引所、アプリコ商店街、製薬会社、病院、ラジオ放送局などの前で、赤リボンのピンを配りステッカーを貼る宣伝キャンペーンを展開しました。



12 月 5 日には町の中を行進、その前 H の 4R は道に出て行き交う車にエイズのステッカーを付け、運転している人に赤リボンを配りました。車はスピードを落とし、協力してくれました。

## UGP-世界統一プロジェクト

## 津波ニュース

ユースは『知るには右すぎず、死ぬには若すぎる』というスローガンを発案し、ワイズメン、メネットそしてユースは町を行進しました。スリランカの家族計画協会のメンバーもたくさん行進に参加してくれ、このキャンペーンは大成功でした。

ワイズバナーとエイズ防止宣伝の垂れ幕を掲げての行進はとても意味のあるものになりました。ヴィハラ・マハデビ屋外劇切にたどり着いたワイズをスポンサーのネスレーが飲み物を提供してくれました。そこではディスクジョッキーの司会で集会を開き、家族計画協会所属の医師によるエイズ防止問題のスピーチがありました。

スリランカ区ユース事業主任 スザンヌ・パイヴァ

### 靴のある幸せ

裸足で学校に来る子供たちを想像できますか？

2005年8月、ウガンダのジンジャでトレーニングを受けていたユースは、はだしで学校にくる子供たちのことを耳にし、32足の靴を購入し子供たちに配りました。またワイズから100万ウガンダシリング(US\$500)の募金を集め、そのお金でカキンジ小学校の校長にはだしの子供達に靴を購入することを依頼しました。校長先生は115足の靴を買って生徒に配ってくれました。学期の初めに希望をとって全員に配りましたが、このキャンペーンを聞きつけた子供が学期の途巾でも学校に来はじめ、退学率も減りました。

このキャンペーンを成功させたアフリカ南東区のワイズとユースにこどもたちは心から感謝しています。



アフリカ地域ユース代表 パラカ・ムワンギ

### スリランカの津波被災者用

#### 家屋建築事業

スリランカ区は津波の被災者や住んでいる家が全壊したり、大きな被害を受けた家族への救援事業に着手しました。

被災者は家を離れて避難を余儀なくされています。ワイズが直面している最大の問題は、100メートルの緩衝地帯内に建っている家の再建を政府が許さないことです。当局が被災者にその代替となる土地を斡旋できていない



ことが国家的人問題となっています。

このような状況で、スリランカ区は緩衝地帯外に代衿地を所有している被災者を見つけ、援助しています。建築許可がでる土地を探すために

「庶民の教会」と協働している慈善団体「お困りご近所協会」の援助を仰いでいます。特筆すべきは、コロンボ首都圏の南10キロの町デヒワラで津波に家を完全に破壊されたジブシー部落の人々に5軒の家を建てるのをワイズが援助したことです。ジブシー部落の人々は空港の東10キロのダンコツワに移住し、将来尊厳ある牛生活を送る希望を取り戻しています。建てた家はもう入居できるようになっており、たまたまスリランカを訪れていた長尾ひろみ直前アジア会長も視察に訪れました。



更に12軒の家(1軒当たり約4,500米ドル)が数ヶ所の被災地で既に完成しており、またコロンボの南

150キロのウエリガマにも11軒の集団住宅が建てられ、「ワイズメン村」と名付けられます。

11,500米ドルものご寄付を頂いた国際ワイズの皆さんに心から感謝します。



更にデンマーク区から38,300米ドル、ジュネーブ・グローバルから45,000米ドル、他に幾人かの個人寄付も頂いています。すべて合わせて、住宅建設計画支援のために凡そ150,000米ドルを集めることが出来ました。収支決算は今後3ヶ月以内に完成することが出来ると期待しています。

スリランカ区直前理事 ヴェラアン・デ・メル

スリランカ区直前理事 ヴェラアン・デ・メル

求めるワイズから行動するワイズ



## 台湾区の津波ファンド

津波が東南アジアを襲った直後、チャン・ルエイ・シン台湾区理事は台湾の全ワイズメンに呼びかけ、募金を開始し、ZO, 000米ドルを集め、更にスリンラカのワイズメンと協力して救援活動を行うことを決定しました。



台湾区は2005年11月6~13日、マ・ジュン・ホア書記とPAPデイビッド・シヤオをスリンラカへ派遣しました。目的は被害状況と、台湾区がどのように復興作業の援助が出来るかを調べることでした。彼らはPAPデバネ・ベレラと共に被災地を訪れました。被災後一年を経過したにも関わらず、多くの家族がまだ難民キャンプや木造の仮設小屋の中に住んでいました。両親と子供たち全員が台所もトイレもない縦4メートル横6メートルの一部屋に住んでいるのです。視察団は政府が進めている山の中の住宅建設現場も見学しました。現在33軒を建築中です。1軒の建築費は4,000米ドル。

スリンラカ区は既に5軒分の建築費用を寄贈しています。政府は生活のため海岸地区を離れたがらない漁師たちのために土地を探しています。訪問の最終日、彼らはスリンラカのワイズリーダーと話し合いを持ち、台湾区の救援ファンドでさらに5軒を建設することに決定しました。



国際トラベル・コーディネーター デイビッド・シヤオ

## スリンラカのクラブの津波救援活動

2004年12月26日、津波がスリンラカを襲った直後からスリンラカのウエラワッタ・ワイズメンズクラブはスリンラカYMCAと協力して救援活動を行っています。クラブは200,000米ドルの食料、医薬品、衣服、化粧品類などを被災者に贈りました。

エリザベス&リチャード・ドワイト夫妻は外国の友人から7,000米ドル以上の救援寄付金を受け取りました。この金はクラブ会計に預けられています。クラブにはさらにノルウェーのブラザークラブからも2005年2月に

求めるワイズから行動するワイズへ

救援金が送られてきています。

2005年11月1日、ウエラワッタ・クラブはセバスチャン教会のウイクレマ・フォンセカ神父の要請によりスズキ製の船外機用モーター1



基を川神父に贈呈しました。1 祁申父から津波で漁船と船外モーターを失った漁師の2家族に贈られる予定です。(写真はその贈呈式)

PICM エリザベス・ドワイト(リエラワッタ・クラブ)

## YEEP カナダで再開

カナダ・マリタイムズ区は何年かぶりに本格的なYEEPを実施することで胸を躍らせている。アリソン・ハーストはローマン夫妻(アルファヴィル・ワイズメンズクラブ)宅に滞在するために05年12月29日ブラジルのサンパウロを訪れた。ローマン夫妻の息子ヴィクターはハースト夫妻(サマーサイドYサービスクラブ)宅に滞在するために05年8月9日プリンス・エドワード島に到着した。二人は高校3年の授業と新しい言語の習得に同時に取り組まなくてはならない。このプログラムは二人の滞在期間が重なるという点でユニークである。彼らは05年8~12月はカナダ、06年8~12月はブラジルで共に過ごす。ローマン家の他の二人の息子もYEEPでデンマークとカナダに滞在した経験がある。アリソンとヴィクターはカナダとブラジルの文化がそれぞれ特有であるが、唯一顕著な相違は言責であることをすぐに学んだ。世界は本当に狭い!

カナダ、プリンスエドワード島、サマーサイドクラブ  
マリリン・リンクレター

## イーストカウアイ・ユースラン

1月、イーストカウアイ・ワイズメンズクラブはYMCAとの共催でキロハナ・グラウンドにおいて第23回ユースランを開催した。ユースランはよちよち歩きの子供からティーンエイジャーまでの若者を対象としているが、思春期の子供達に楽しんで足りながら運動の重要性を知ってもらう手段でもある。地域の行事として企業には商品や飲み物の提供要請をしている。子供達全員が賞品をもらえるように配慮されており、全てのランナーにYMCAのTシャツが提供される。

## 行動するニュース

この行事は、地元 YMCA のプログラムと価値をサポートして地域社会に奉仕するという我々ワイズメンのミッションと合致しており、イーストカウアイクラブの多くの事業の一つである。



クラブの夕食の配膳を楽しむ  
ヴィククー

ハワイ、イーストカウアイクラブ ベヴ・オルソン

## YMCA インターネットを通じての

### ユース参画と活動

03年リトアニア・ヴィリニユス YWCA/YMCA はフィンランド YMCA から 10 台の新型コンピュータの提供を受けた。リトアニアでは高等数百全般、とりわけ電子機



器購入に殆ど政府援助を得られない。一般に入手できるコンピュータの性能は非常に劣っているので、このプロジェクトはコンピュータ教育の基盤を築くことになった。16,209 米ドル

の TOF 献金で 05 年 1 月に届けられたコンピュータはグレードアップされ訓練室の備品が購入された。コンピュータ操作とプログラミングに関する知識を得ることは若者の能力向上に不可欠であるが、YMCA が奉仕の対象とする若者には高価で手が届かない。ボランティアによって授業が行われているので授業料は他の訓練校よりもはるかに安い。ヴィリ

ニユス・ワイズメンズクラブはこのプロジェクト継続支援の募金活動をおこなう予定である。リトアニアに情報化社会を確立することがこのプロジ



ェクトの主な目的であるが、多くの副次的利点もある。1990 年まで政府の厳しい生活統制が続いたので、現在も若者はボランティア活動や YMCA のような非政府組織に参加するという考えに疎く、時間を持って余している若者はしばしば反社会的行動に走る。このセンターを他の NGO 指導者との出会いの場所として利用することにより協力してやり甲斐のある活動を創ろうとする熱意が高

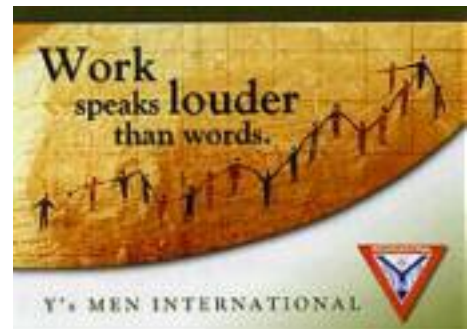
まり、若者が自分の将来に対してより積極的な態度を持つことが望まれる。

リトアニア YWCA - YMCA 総主事 A・シウクシス

## アメリカ地域で研修用 CD を作成

本年度、アメリカ地域内では会員数台と新クラブ設立用の 2 つの研修用 CD を作製して域内の各クラブ会長に配布しました。これらの CD は 2005 年にアメリカ地域議会で任命されたタスクチームが専門家に依頼して原案を作り、それらに検討を加えて制作したものです。なお、製作費は国際協

会の特別開発基金からの支援金が当てられました。第 1 部「会員であることに誇りを措とう」という表題の CD は 入会候補者へのメッセ



ージとして、新入会員及びベテラン会員の教育にも使えます。第 2 部「1 汀言葉よりも実行こそ有益」という表題の CD は新クラブの設立用に作製したものです。YMCA の責任者にワイズメンズクラブを設立することが如何に有益であるかということもうまく説明しています。CD の説明は英語になっており、写真もアメリカ地域におけるクラブの活動に関するものになっていますが、これらはご利用になる地域のニーズに合わせて変更することも可能です。これまで区大会等で CD を見た人々の反応はきわめて良いものでした。本件に関する質問は下記までご連絡ください。

元国際会長 レシェル・リーグ

E-mail: rrrst19573@sbcglobal.net

住所: 4822 Moccasin Dr., St. Louis, MO 63123, USA

## YMCA ユース開発担当職員の採用について

先に開催されましたオーストラリアの区大会で、区は Bendigo 地区 YMCA でユース開発担当として働く職員の給与の一部を負担することを決めました。この職員を置く目的は Bendigo 地区にユースサービスクラブを設立して、同地区の百年達が地域社会にうまく参画できるように、彼らの技能と能力を向上させるためです。この職員の年俸の 50% を区が支出するという申し出を受けて、Bendigo 地区 YMCA の総主事である Peter Krenz 氏は「Bendigo 地区に活動的なユースクラブを持つことは長年の悲願であり、これができれば市内にあるいくつかの

求めるワイズから行動するワイズ

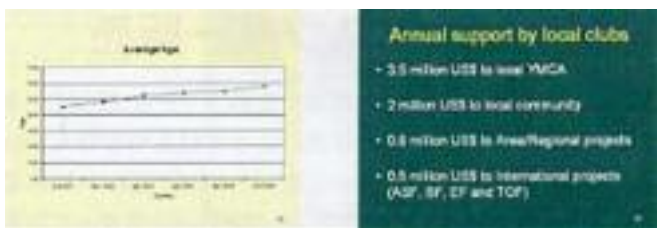


Y サービスクラブの働きを一層強め、Y サービスクラブと YMCA メ父方へのボランティアの供給源の役割も果たすことになると述べています。今回開発担当の職員に選ばれた Paul Johns は YIA の活動に豊富な経験を有しており、間もなくやる気のある有能な青年達がユースクラブの設立に向けて会合することが期待されています。なお、Paul は 2006 年の 1 月から勤務を始めます。

南太平洋地域会長 ビル・シュミット

### お知らせ

国際本部では会員、活動計画、達成度などの動向について絶えず調査をしています。今般、1977 年から 2004 年までの調査資料の分析結果がパワーポイント表示できる形で用意されました。これらの調査資料はワイズダム発展の歴史を伝えるものであり、例会で話題に取り上げれば良い討議の材料にもなると思っています。これらは IHQ のホームページ [www.ysmen.org](http://www.ysmen.org) にアップされていますので、是非ダウンロードしてみてください。



本誌次号掲載原稿の締切は 2006 年 8 月 18 日です。国際投票が有効となるには、クラブは会員 15 名以上が必要、または会員 5~14 名でも区理事に例外適用を申請しておかなければなりません。

### ワイズメネットニュース



私たちワイズメネットは、AIDS 撲滅に向けての運動を進めています。

国際プロジェクトは、ロシアに 2,700 米ドルを送り、非常に喜ばれました。ワイズメンとメネットが、麻薬と AIDS の問題を描いた 10 代の子供達の絵画コンクールを行い、また将来に向けて別の計画も考えています。ロシアのエカテリンブルグ・オルガ・アザリアンクラブの報告記事を高く評価しています。また AIDS に関するポスター及び小冊子をつくり配布を計画しています。

インドのクタネラの 20 家族、主として女性に職業の機会を提供しようとするプロジェクトは広がりを見せています。国際プロジェクトから最初の 4,000 米ドルが払われました。

裁断、縫製、刺繍の技術者と助手が訓練を受け、材料が購入されています。1 年のプロジェクトです。クタネラワイズメネットの努力と成功を祈っています。

ウガンダでも HIV/AIDS に対するプログラムがありますが、実施には現地 YMCA の協力が大切です。早期に具体的な成果が得られるように願っています。

ワイズメネットクラブの認証状については、引き続き重点課題の一つとして取り組みます。昨年は認証状を受けたクラブが余りなく、その殆どがインドでした。もっと多くのクラブが認証を受け、ワイズメネットの数が増えてほしいと思っています。ワイズメンの働きかけは必要です。地域主任、殊にワイズメネットの地域主任が実を結ぶように動いてほしいです。すべての地域会長にはブリテンへの記事掲載をお願いします。ワイズメネットが一体感を感じる事柄です。

国際プロジェクト・コーディネーターのメアリ・クルヴィラの活躍は大きいです。シスタークラブ・コーディネーターで前国際主任のブレンダ・ペリーもシスタークラブ間の交流に向けて最大の努力を払っています。お二人のすばらしい働きに感謝を捧げ、これら大切な領域での実りを期待しています。

メネット国際主任シャンティ・パニグラヒ

### 平和のメッセンジャー

1976 年以来、名古屋と名古屋東海のワイズメネットは名古屋 YMCA の“平和の使者としてのクリスマスカード”のコンテストを支援しています。このコンテストは参加する人々の心に他者への思いやりと世界平和への思いが育つことを願い、30 年近く続いています。参加者は幼児、小学生、中学生、高校生、大人のグループに分けられます。昨年は 2,277 の素敵な心温まる絵が寄せられました。最多のグループは幼児であり、一方 74 歳の応募者もありました。すぐれた作品は表彰されクリスマスの期間、名古屋市民ギャラリーに展示されました。またクリスマスカードとして国内外の YMCA に送られました。一つのワイズメネットクラブは絵画の展示、費用、また賞品を提供するなど協力してコンテストを支えました。厳しい世界情勢の中で、愛と平和を伝えようと続けています。



### 富士山部の国際協力

1984 年、インド・トリパンドラム YMCA では地方の少女達の自助に向けて職業訓練として裁縫教室を始めまし

## ワイズメネット

た。ジョン・トマス総主事から富士山部に、二国間の協同のしるしとして経済的支援への要請がありました。富士山部のワイズ



メンはまず、25人の訓練を受ける少女たちのために6台のミシンを贈り、それ以来文通が続いています。2004

年、コチでの国際大会に先立って17人のメンバーが現地を訪れ、17台の手動ミシンと3台の電動ミシン、それに整備のためにと費用を贈りました。最近15人の少女が卒業し、将来の自立のためにミシンが贈られたと聞きました。恵まれない若者達の自律のためにこのプロジェクトを継続していきます。

富士山部部長 井田伸太郎

### 地域住民の生活改善

南西インド区のパアタナムティナ中央クラブは UGP 事業と以前から PLANET (AIDS と共牛ネットワーク) とタイアップして仕事が出来ないで HIV/AIDS 患者であることに怯えている犠牲者への給食と心理学的なサポートをしています。クラブは、しかるべき方法で AIDS を世間に認識してもらおうプログラムも実施しています。



クラブは定期的に貧しい家庭や老人病のセンタを訪問し、話し相手になっています。

メネットクラブはこの事業推進のため協力し、資金調達に努めています。

社会奉仕プロジェクトに何千ルピーも捧げ、クラブの活動もよく知られ、世間からも賞賛を受けています。

効果ある仕事ぶりに感心して地区当局は、AIDS 対策及び、精神障害者対応の事業推進についてこのクラブに今相談を持ちかけています。

南西インド区パタナムティツタ中央クラブ  
フィリップテングムチェリル

### 募金集めとワイズ広報

毎年、シャーロットタウン・クラブは、オールドホーム週間(OHW)、ゴールドカップサッカーパレード及び、2輪馬車レース等の地域イベン



## 各地ニュース

トに駐車場を管理して資金調達しています。今年は2,200カナダドルの収益をあげました。この収益金は全て少年スポーツや学校のイベントに使われます。

そのイベントは、ワイズの知名度を上げ、ワイズのイメージを高めています。

YMW 副編集長(カナダ) デイビッド・イング

### 遊んで学ぶ子供

日本には以前から近所に子供の遊び場があります。子供たちは外で遊ぶと言えば近隣公園です。YMCAでも供向けプログラムを行っています。プログラムの一例を紹介すると、7月は日時計を作って時刻を調べる、8月には夏祭りにベットボトルロケットを作る、9月には毛細管現象と表面張力の実験をし、10月は苗ながらの輪投げと金魚すくい、11月は紅葉がり。

このプログラムにはワイズのほか、NGO、地域他団体の協力が欠かせません。

大阪土佐堀クラブ会長 奥田時夫

### 恒例クリスマスツリー販売

いろいろなクラブが資金調達のためツリーを売っています。これはワイズのPRには恋いことではありません。ツリー販売にワイズのモットーと逆二角ロゴが描かれているポディーに赤と緑のツートンカラーのトレーラを使っています。私たちはワイズメンのボランティアであると描いてある名札を着用しています。たまに、「YMCAに雇われているのかと」尋ねられたからです。私たちはツリー売りを45年間続けています。

今年、1週間の労働のおかげで850本のツリーと19ダースのリースを売り上げました。これで恒例のボランティア後の気持ちよいクリスマスを迎えることが出来ます。今年は例年に比べて少ないツリーでしたが売り上げは増えました！私たちの協力者にはYMCAの公務員青年クラブや公立小学校の5年、6年の生徒が地域奉仕プログラムとして参加しています。

市民のために素晴らしいツリーとリースを用意してくれているのはワイズメンズクラブですと、地方紙の記事になっています。この売上からの収益は、YMCA夏のキャンプに資金的に参加できない子供に奨学金を提供し、キャンプ・ワカンダの設備購入を支援し、YMCAのウェイクフィールド・コミュニティの奨学金と古少年プログラムをサポートしています。ウェイクフィールドクラブは、米国で最も占い活動的なクラブです。

米・ウェイクフィールドクラブノーマン・キャンベル(本号表紙写真は同クラブから提供されたものです。)

求めるワイズから行動するワイズ



## TOF で広がった施設

インドは人口の 10% を身体障害者が占め、世界中で一番視覚障害者の多い国です。トリパンドラム・ノース・ワイズメンズクラブは、NAB( 国立古人協会 ) を設立し、5 万人の身障者に対応できる施設をつくらうとしています。

現行の施設は数年前に作られ、地域の古人をサポートする目的で 1995 年に TOF 事業として認められました。NAB は様々な事業を展開してきましたが、あまりにも大きくなったので、2004 年に建物とサービスを拡張することが TOF で認められ、上層の階にも場所を広げ、今の 2 倍の広さになりました。

その中で次の事業が加えられます。(1) カウンセリング (2) 自立する為の就労相談 (3) 身障者にならない為のア防 (4) 世話人の斡旋 (5) 様々な障害児対策 などです。個人や家族のカウンセリングや、健常者 ( 教師や警官など ) の研修をしたり、病気や栄養失調の子供達の医療チェックをしたりします。

チェ・ハンキ次期国際会長は 2006 年 2 月 16 日に、トリパンドラム・ワイズメンズクラブのメンバーと NAB のスタッフから熱烈な歓迎を受けました。NAB の古人トレーナー遠からは歓迎の苦楽が奏でられ、大きな賞賛の中で、建物の開館式が行われました。少し会話を交わした後、彼はこのセンターを築きたいという前会長のジョージ氏の夢がかなったと述べました。



## コンサートで新しい基金づくり

昨年、スウェーデンで開催されたヨーロッパ地域大会で、TOF の基金づくりの新しい方法が生み出されました。大会登録費の一部でコンサートを開き、その利益を基金に充てるというもので、いろいろな分野のミュージシャンが選ばれました。



例えば、スウェーデンの有名なサクソ奏者ヨハン・ステンゴードさんとピアノのアンドレアス・ランデグレンさんのデュオです。お二人は、スウェーデン皇室が海外を訪れた時に同行したり、ポピュラー音楽で幅広く世界で演奏され

ています。また、同国ヴェステロース出身で、フィンランドのシベリウス・アカデミーで学んだ若きピアニスト、ヘンリク・モーヴェさんは、ショパンの曲を披露しました。

コンサートは大成功に終わり、参加者から多くの賛助を受けました。その結果、ヨーロッパ地域大会で TOF の基金として 5,600US ドルが集まりました。

YMW 副編集長 ( 欧州 ) 丁・シエ - クビスト

国際事務局のウェブ・サイトには TOF の情報が詰まっています。

アドレスは [www.ysmen.org](http://www.ysmen.org)

TOF についての歴史、プログラム案内、報告 などぜひ一度ご覧ください。

## 神様のご計画

一つの部分が苦しめばこ 全ての野分が共に苦しみ、一つの野分が着脱水域 全ての部分が共に喜ぶのです。

( 新約聖書コリントの信徒への手紙一 12 章 26,27 節 )

私たちは、互いに依存し合って生きています。一人だけの独立した生活というものはないのです。

私たちは互いに寄り合いの中にいますが、世界は今日、より深い強力な基解と理解を求めています。愛は寛容であり終わりのない情け深さです。この愛のない人生は地獄行きです。

そして、今日の世界はこの地獄に落ちています。私たちが共に生きることの大切さを学ぶことができたのは、実に素晴らしいことです。私たちは今、このキリストの愛に共鳴して、私たちの幸せを薄幸の人たちに分かち合うことを実践する時です。

キリスト教が常に教えているように、神様のご計画は、この世界を一つの大きな家族となさることです。それは、全ての国民が宝を神の国に持ち寄ることです。そこでは、一つの宝がみんなに分かち合われ、みんなに同じ喜びが与えられるのです。一人ひとりの務めは、他の人びとに対する思いやりと重荷を負うことです。神様が望んでおられることは、一人ひとりがすべての人の幸せに奉仕しなければならない、ということです。私たちは隣人を愛さなければなりません。そして、すべての人が私たちの隣人なのです。キリストが教えられた「主の祈り」こそ、最深の思いを込めて、唱和されなければなりません。

ベンソン国際会長が呼びかけています。過去に敬意を表しつつ、未来に向かってコートを手を脱ぎ、袖を捲り上げ、アッシジの聖フランシスの愛の祈りに真筆に共感して、人びとの心の中に神様の聖なるご意思が完全に実

現されるよう、種蒔きに果敢に出て行こうではないかと。  
 主よ、わたしをあなたの平和の道具にしてください。  
 憎しみのあるところに愛を種蒔く者となさせて 下さい。  
 争いのあるところに ゆるしを、  
 分裂のあるところに 一致を、  
 疑いの或るところに 信仰を、  
 誤りのあるところに 真理を、  
 絶望のあるところに 希望を、  
 闇のあるところに 光を、  
 悲しみのあるところに 喜びを、  
 もたらすことができますように。

ああ主よ、わたしに、  
 慰められるよりも 慰めることを、  
 理解されるよりも 理解することを、  
 愛されるよりも 愛することを、求めさせてください。  
 わたしたちは与えるので受け、ゆるすのでゆるされ、  
 自分自身を捨てることによって、永遠の命に生きるから  
 です。

国際事業主任 (キリスト教強調) ・M・ジョン

## 財政健全化への思い

どんな組織でも、財政の健全化ということは一つの重要な観点であり、その効率的・効果的な運営が組織の健全性に大きく貢献します。この財政には、次の三つの重要な視点があります。即ち、金銭管理、会計処理、そして監査です。また、それぞれに手続きと実施の規定がありますが、実際には多くの所でそれが守られていないのが実情です。

金銭管理に関しては、予算上の統制管理の重要性が軽視されてはなりません。会計処押においては、標準的な経理規

定、例えば国際経理規定、経理会社による経理規定などが利用できます。監査においては、同様に国際標準監査規定、高等監査機関などによる標準規定が利用でき、場合によっては、こともあります。また、これが必須の規定として指定される最終監査報告書が作成されると、これを追跡調査する機関がなければなりません。これら全ての視点の作業が総合的に営まれて、はじめてこの財政運営がよノ、システムであると認証されるのです。

公的なお金が取り扱われる時には、お金を支払った人に、それがどのように使われたかを知る権利が保証されていることが重要です。このためには、詳細な会計報告諸書が用意され、監査報告書と共に適時に提出されなければなりません。

二の事柄に如何なる欠落または遅延があっても、具合の悪い影響をもたらすこととなります。適正な財政運営のためには、

公的な資金支出を担当する人は、同じ己、遣い、特に恰も自分のお金を使っているかのような感覚に陥っていな

いかとの自戒の念をもって、事に当たる必要があります。

所によっては、このような視点を欠落している場合がありますから、ワイズのあらゆるレベル、特にクラブレベルでの厳格な規律が必要です。会計のだらしなさは、クラブ存続そのものへの深刻な影響を与えます。すべてのレベルにおいて、適正な資金管理、会計事務、そして監査システムがなければなりません。現在行われているクラブ役員等への研修システムに、この観点を含める必要があります。トレーニングが行われていない所では、クラブ役員たちに対して、財政と会計事務に關しての強力な基盤づくりができるよう、このことからでも始めたいいのではないのでしょうか。

インド・トリパンドラムクラブ R・パニックル

## EF(信託基金)によるワイズの発展

ワイズ運動の SDS (重点的發展支援) のためにエンダウメントファンドからの資金援助が役立っています。EF トラスティー (5 名の管財人 = B・ダニエルス, 青木一芳, A・マルメ, P・スクマラン, A・バラード) と私から昨年度 EF に献金されたクラブと個人の皆様に感謝を申し上げます。2004/5 年度は当初の目標 \$ 60,955 を上回り \$ 85,647 を達成しました。アジア、ヨーロッパ、インドが目標を上回りました。

このエンダウメントファンドに大きく貢献していただく方法として、榮譽員献会員 (Honour Roll Member) 制度があります。一人のワイズ会員が \$ 1,000 かそれ以上を現金で献金いただくか、または、遺言、信託基金、保険、株式、社債の形で \$ 1,000 相当以上を寄付いただく方法です。この場合は事前にその旨書面で ISD または国際本部に連絡いただければ、このどちらかの方法で貢献願った方にはゴールデンブック (国際事務局に永久展示される奉加帳) に榮譽員献会員として記載されます。そして、特別の徽章と、ご自宅や事務所に飾る名入りアイスバーグ (氷山の形の記念品) が贈呈されます。2005/6 年度の目標は、\$ 69,028 と決まりました。この目標を 100% 達成しましょう。そして、潤沢な運用益が上げれば、その資金はワイズのさらなる発展に役立ちます。

EF 国際事業主任 ハロルド・スピルド

## ワイズの良き奉仕者

### 元国際書記長ハイル氏逝く

ワイズの素晴らしい奉仕者であったジェリー・ハイル氏が 2005 年 10 月に亡くなりました。

同氏は、1963 年から 1973 年までワイズ国際書記長を勤め、当時の国際本部 (米国イリノイ州オークブルック)



が彼の時代に建設されました。ワイズの活動が、今日のように隆盛を極めることになったのは、彼の洞察力と指導力に負うところが多くあります。ワイズの国際本部が米国から現在のジュネーブに 1973 年に移りましたが、その米国の建物の売却益は、現在のエンダウメントファンドに組み入れられています。日本のワイズメンで彼にお世話になった人も多くいます。元国際議員 (1983 - 85) パーニー・マーシャル (米)

### ASF のためのオークションを

#### 競り落とすのは誰？

ご存知の ASF ファンドは、ワイズ運動の創設者アレクサンダーの名前を採ったものです。この資金は将来、



YMCA 主事となってくれる人材の発掘、養成に役立てる基金です。ここカナダの PEI 州サマーサイド

クラブでは一月例会は、ASF 資金集めが主なテーマ月でした。

会員、一人ひとりが自宅にある記念の品々を持参しオークションにかけます。夕食後に行われたオークションでカナダ \$ 600 を集めました。それは楽しい例会でした。

きっと、創設者のポール・ウィリアム・アレクサンダー判事も、この結果に満足されたことでしょう。

カナダ・サマーサイドクラブ M・リンクレター

### 3,000 個のクリスマスプレゼント

ここアメリカ・加州モンテベロ市の子供たちは、毎年、12 月 24 日を楽しみにしています。同市の YMCA は毎年 3,000 何のプレゼント (玩具) を子供たちに配ります。この日の昼食会には、同市の YMCA 理事、市長、市議会議長、警察の署長、などが 11 席します。

昼食後にこのプレゼントを配る時が子供達のもっとも感激する時です。この地のイーストバレイクラブは、このための準備のため汁して準備をしますが、何時にワイズメンが幸臥、られる時でもあります。

米・イーストバレイクラブ エリック・キム

本誌は世界のワイズメンに配られる機関誌です。貴クラブのニュースと写真を青木副編集長へ。

### 新しい国へのエクステンション

2005 年 11 月に、域内の EMC の一環として、私たちはエクアドルとコスタリカの YMCA を訪問しました。両者とも歴史は浅いが活発です。まだワイズメンズクラブはできていないのですが、これら Y の地元社会への奉仕活動に対し、国際の TOF 資金が役立てられています。



コスタリカの YMCA の場合、総主事さんと共に町おこしのセンターを訪ねました。この国ではこの種のプロジェクトで最初のものでした。また TOF で

支援している「HIV/AIDS 予防への若者の啓発と研修」プロジェクトの公開講演に参加できました。

コスタリカ YMCA の創立 30 周年記念ともなる 2 月の年次総会で、この国最初のワイズメンズクラブの設立が行われました。

ラテンアメリカ・カリブ海地域会長 ・ポセイロ

### 移民のための TOF による支援

コスタリカは戦乱が絶えない中央アメリカにおいて唯



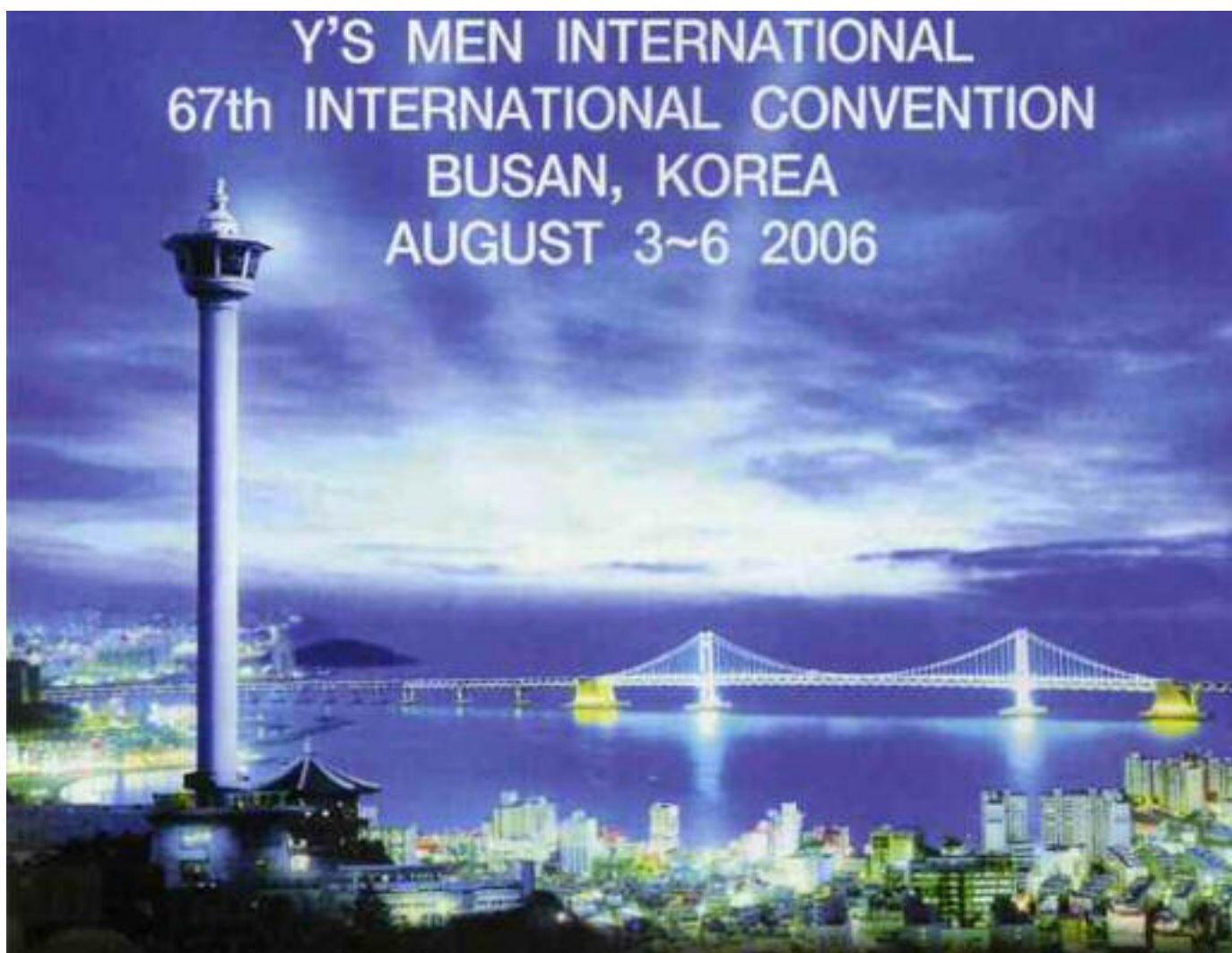
一長年安定した民主国家であり続けています。そのため近隣の国々から難を逃れて移民して来る人の数が高い水準になります。彼ら移民は、昔は農業に従事しましたが今は 40% かの都会に住み着きます。多くは若者です。

コスタリカ YMCA は長年ニカラグアからの難民に職業訓練を提供してきました。製パン、美容師、事務職などです。その結果過半の者が定職を得ました。しかし移民はなかなか受け入れられないのが実情です。割がコスタリカ人で共に学びます。

TOF プロジェクト はさらに高度な技術訓練を目指します。コンピュータ操作も習います。YMCA のボランティアが協力します。

50 名の通年コース中 7 割がニカラグア人、3 女性受講者のために託児もあり、外国人差別をなくすキャンペーンもしています。

こうして文化交流を図るとともに、移民がこの国に定着できるよう努力を重ねています。「移民週間」などの行事も催され、年末には全参加者による評価会も行われるのです。



Y'S MEN INTERNATIONAL  
67th INTERNATIONAL CONVENTION  
BUSAN, KOREA  
AUGUST 3~6 2006



ワイズメン国際協会 第 67 回国際大会  
驚きの地によろこそ

実行委員会 委員長 チェ・ハンキ  
E - mail goldseven1@naver.com  
ウェブサイト www.ysmenic2006.com  
大会の日時 2006 年 8 月 3~6 日  
場 所 ロッテホテルと BEXCO  
国際議会 2006 年 7 月 30 日~8 月 2 日  
ユース・コンヴェンション  
2006 年 7 月 31 日~8 月 6 日

ワイズメンズワールド 2005 - 2006 年度 第 2 号 日本語版

発行人 東日本区理事 浅見隆夫 西日本区理事 佐野文彦

翻訳編集委員長 青木一芳(千葉) 印刷 三浦克文(岡山) から OCR 読み取り再編集 by 十河